優しい思い出は未来を照らす

福井生／福井達雨 共著

知能に障がいのある４人の子どもと一緒に出発して60年。「止揚学園」が一貫して目指してきたものを、創立者と現園長が優しく、かつ力強く語る。言葉を発しない人たちの言葉に聴くことの大切さを伝える一冊。

福井 生（ふくい・いくる）
1966年、滋賀県東近江市（旧・能登川町）にある止揚学園に生まれる。生まれたときから、知能に障がいのある子どもたちと一緒に育つ。同志社大学卒業後、東京の出版社に勤務。1992年、止揚学園に職員として戻ってくる。2015年7月15日より園長に就任。著書、『あたたかい生命と温かいいのち』、『笑顔のうちにあるもの』（いのちのことば社）など。

福井達雨（ふくい・たつう）
1932年、滋賀県近江八幡市に生まれる。1956年、同志社大学を卒業。学生時代より、障がい児の教育と差別問題に取り組む。1962年、多くの人たちの協力により、知能に障がいのある子どもの施設、止揚学園を設立。2022年9月6日、召天。著書、『子どもの笑顔を消さないで』、『僕アホやない人間だ』（止揚学園）、『見えない言葉が聞こえてくる』『優しい心はたからもの』（いのちのことば社）など。

B6判 184頁 定価1,650円（本体1,500円＋税）
ISBN978-4-264-04422-2 C0016
いのちのことば社　卸コード 09080